

中学校進学に向けて

様々な学びの場について
一緒に考えましょう

【中学校通常の学級】

神戸市教育委員会事務局
特別支援教育課



保護者のみなさま、こんにちは。
ここでは、中学校の通常の学級について、お伝えします。

主な内容

1. 多くの子供たちで意見交換しながら学習をすすめ、各教科等の力を身につけます。
2. **通級指導教室**を活用することにより、担任等と相談しながら、**本人の課題への特別な指導**を行うこともできます。
3. 必要に応じて、ネットワークプラン（個別の教育支援計画）、**個別の指導計画**を作成します。



この動画でお伝えするのは、次の3つの内容です。

一つめは、中学校では多くの子供たちで意見交換をしながら学習をすすめ、各教科等の力を身につける、ということ。

二つめは、必要に応じて通級指導教室を利用することにより、担任等と相談しながら、本人の課題への特別な指導を行うこともできる、ということ。

三つめは、必要に応じて、ネットワークプラン、個別の指導計画を作成する、ということです。

1. 学習について

- 中学校は40人学級です
- 中学校は教科担任制です。
- 学習指導要領に基づき、教科等の指導を行います。
教科や単元ごとに評価規準が定められています。
- 50分で1時間、業間の休み時間は5分から10分です。
- 検定教科書を使用します。
- 定期考査があります。
- 必要に応じて通級指導教室を利用することができます。



では、一つ目の内容についてです。
中学校での学習の基本的なことをお伝えします。

中学校の1年生は40人学級です。40人までで、一人の先生、ということになります。
また、中学校の学習指導要領に基づいて、教科等の指導を行います。
教科や単元ごとに評価規準が決められています。
授業は50分で1時間、業間の休み時間は5分から10分です。
全員が文部科学省が定める各学年の各教科で作られた検定教科書を使用します。
必要に応じて、通級指導教室を利用することができます。

1週間の時間割：中学校1年生の例

	月	火	水	木	金
1	HR	技術/家庭科	国語	社会	理科
2	社会	美術	体育	国語	音楽
3	理科	英語	英語	理科	国語
4	音/美	国語	数学	数学	体育
5	数学	社会	総合的な 学習の時間	技術/家庭科	英語
6	体育	道徳	補	英語	数学



中学校では週当たりの授業時数が30時間程度で、各教科の標準授業時数が決まっています。

2. 通級指導教室について

① 拠点校通級指導教室(6教室)

	教室名	設置校園名	所在地
①	湊川多聞教室	湊翔楠中学校	青少年育成センター2階
②	谷上教室	山田中学校	谷上小学校内
③	神戸生田教室	神戸生田中学校	元町北会館3階
④	小部教室	小部中学校	小部小学校内
⑤	竜が台教室	竜が台中学校	竜が台小学校内
⑥	竹の台教室	西神中学校	竹の台小学校内

② 自校通級指導教室



次に、通級指導教室についてお伝えします。

神戸市では、自校通級指導教室と拠点校通級指導教室があります。
その違いについて説明します。

自校通級指導教室はお子様に通う中学校の中にあります。中学校は設置されている学校が少ないですが、
通われる中学校に自校通級指導教室がある場合は、その自校通級指導教室を利用します。利用される場合は、通級による指導の時間にだけ、その教室で指導を受けます。

拠点校通級指導教室は、他校の中学校等に設置された教室に通い、指導を受けます。
基本的には、自校通級指導教室のない中学校等の生徒が利用します。

次のスライドで通級指導教室について詳しく説明します。

- 通級指導教室ではそれぞれの目標に応じた指導を受けます。
「特別な教育課程」を編成し、教科の授業の一部を「通級による指導」に替えて実施します。
- 拠点校通級指導教室で指導を受ける場合も、出席扱いです。
- 担当者は教員です。
- 学習の補充をするものではありません。例えば、コミュニケーションや人間関係の形成、気持ちのコントロール、集団での過ごし方、その子供自身の見る・聞くなどの力に応じた学び方の習得などを目的とし、個別もしくは、小グループでの指導を受けます。
- 治療的なかわりではなく、その子供の得意なことや個性を大切に、学び方や生活の工夫を共に考えることで、安心感や自己肯定感を高めることなども目標にしています。



通級指導教室では、それぞれの目標に応じた指導を受けます。

通級指導教室に通う時間は、「特別な教育課程」として認められており、拠点校通級指導教室で指導を受ける場合も、出席扱いです。

通級による指導の担当者は教員です。

個に応じた指導を行いますが、学習の補充をするものではありません。
例えば、コミュニケーションや人間関係の形成、気持ちのコントロール、集団での過ごし方、その子供自身の見る・聞くなどの力に応じた学び方の習得を目的とし、個別もしくは、小グループでの指導を受けます。

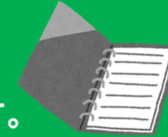
治療的なかわりではなく、その子供の得意なことや個性を大切に、学び方や生活の工夫を共に考えることで、安心感や自己肯定感を高めることなども目標にしています。

3. ネットワークプラン・個別の指導計画 について

【ネットワークプラン】（個別の教育支援計画）

引継ぎのために、保護者様の協力を得て作成します。

作成したネットワークプランは、高校に引き継ぐことができます。



【個別の指導計画】

日々の学習のために、必要に応じて学校が作成します。

作成した個別の指導計画も、引き継ぐことができます。



ネットワークプランと個別の指導計画について説明します。

ネットワークプランは、支援の引き継ぎを目的として作成する資料で、
お子様に関する情報や支援の状況などを記入します。

これは、保護者様と学校が協力して作成するものです。

今のお子様の状況や効果的な支援を次の学年に引き継ぐことで、切れ目のない支援を
目指すものです。

もう一つの、個別の指導計画は、お子様の状況を細かくとらえ、個別の目標を立て、支援
の手立てを学校が保護者様と共に計画するためのものです。

こちらも次の学年に引き継ぐことができます。

通級による指導を受ける場合は、この両方を作成する必要があります。

通級を利用しない場合でも、必要に応じて作成することができます。

通常の学級についての説明は以上です。

他の動画もぜひご覧ください。